産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 製品安全小委員会
電気用品整合規格検討ワーキンググループ（第17回）

議事要旨

日時：令和2年10月5日（月曜日）13:00～14:10

場所：経済産業省別館3階310共用会議室＋オンライン会議

出席者

三木座長、青柳委員、氏田委員、梶屋委員、加藤委員、多氣委員、日暮委員、松本委員、三浦委員、渡邊委員

議題

整合規格案の確認について

議事概要

今回確認する整合規格案（8規格）について、事務局より資料を用いて説明し、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について別表第12に追加することを各委員に諮ったところ了承された。委員からの主な発言及び事務局回答は以下のとおり。

- ・JISC9335-2-28（資料2別添2）の適用範囲について、「・・・店舗、軽工業及び農場において一般人が用いる機器のような、一般大衆への危険源となる機器も適用・・・」とあるが、ミシンの規格に「農場において」と記載する理由について質問があり、事務局より内容を確認の上、後日回答することとした。
- ・JISC9335-2-28（資料4-2）の第5条について、「箇条7.12 補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない旨の記載しなければならない。」とあるが、「・・・意図していない旨を記載しなければならない」の誤植ではないか、という指摘があり、事務局より修正する旨、回答した。また、第18条の項について、資料には「非該当」となっている旨、指摘があり、事務局より正しくは「該当」である旨、回答した。
- ・JISC9300-1（資料4-3）及びJISC9300-3（資料4-4）の第13条（電気用品から発せられる電磁波による危害の防止）の項について、アーク溶接作業では紫外線がかなり発生するが、紫外線に関する規定はどのようなになっているのか、という質問があり、事務局より内容を確認の上、後日回答することとした。

問い合わせ先

経済産業省産業保安グループ製品安全課

電話：03-3501-4707

FAX：03-3501-6201